

令和 3 年 1 月 27 日  
公益財団法人ぎふしん記念財団  
理事長 高橋 征利

**岐阜市歴史博物館分館加藤栄三・東一記念美術館への収蔵素描画修復費用の寄附について**

公益財団法人ぎふしん記念財団（理事長 高橋征利）は、地域住民の福祉の向上、地域の文化・芸術の振興を目的とした事業及び助成を行っており、今年度も岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館収蔵の素描画修復費用を寄附致しました。

当財団は、今後も地域社会の活性化を図るため、公共的な活動及び助成（寄附）を通し、広く地域社会の健全な発展のために寄与して参ります。

記

■岐阜市から公益財団法人ぎふしん記念財団への感謝状贈呈式

日 時 令和 3 年 1 月 26 日（火）10：00～10：30

場 所 岐阜市役所 市長応接室

寄附内容 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館の収蔵素描画修復費用

寄附金額 100 万円



（公益財団法人ぎふしん記念財団）

高橋 征利（公益財団法人ぎふしん記念財団理事長 岐阜信用金庫 相談役）

奥村 順一（岐阜信用金庫 理事 営業戦略部長）

（岐阜市）

柴橋 正直（岐阜市長）

牧ヶ野敏明（ぎふ魅力づくり推進部長）

大塚 清史（岐阜市歴史博物館館長）

山本 真一（岐阜市歴史博物館分館加藤栄三・東一記念美術館館長）

■今回修復した収蔵品の一部



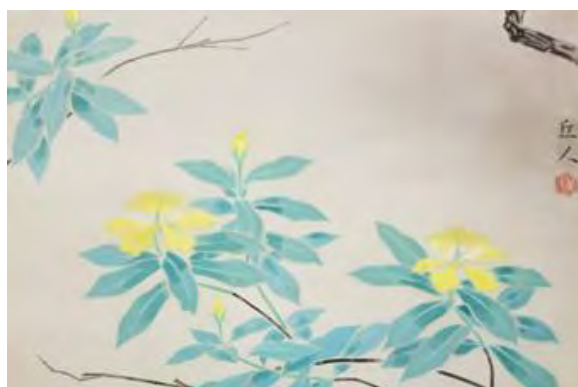
昭和 23 年 加藤栄三「月響」素描



「月響」のモデルとなった岐阜市舟伏山の遠景



昭和 22 年 加藤栄三「溪音」素描



山本丘人「夏乃花」の一部分

■素描画とは

黒・セピアなどの単色の線で形象を表し、陰影をつけた絵画の習作や下絵のこと。同美術館では、加藤栄三・東一画伯のご遺族をはじめ多くの方からの作品寄贈による 5,000 点を超える作品を収蔵しているにもかかわらず、一般公開されている作品はその一部に留まり、「素描画」や「スケッチ」は表装されず、劣化が進んだ状態でした。当財団ではこれらを岐阜市の文化財として後世に残し、広く市民に公開することを目的として、素描画の修復事業に継続的に寄附を行います。

※素描画の修復事業への寄附は今年度で 3 年目（通算 300 万円）となります。

※修復した素描画は、令和 3 年 4 月 20 日（火）～6 月 13 日（日）の会期で同美術館において企画展を開催し、市民に公開します。